

新潟のアートシーンを
もっと面白く、
もっと元気に。

NIIGATA アートリンク2023 展覧会スケジュール

このマークのある展覧会では
新潟出身作家の作品を見ることが
できます。



新潟市美術館 (新潟)

美術館に行こう!

ディック・ブルーナに学ぶ
モダン・アートの楽しみ方

4月8日(土)~5月28日(日)

「びじゅつかんって どんな ところかしら?」
とやってきたミッフィー親子と一緒に、新潟
市美術館の名品を楽しむ展覧会です。生みの
親である絵本作家でグラフィックデザイ
ナーのディック・ブルーナのデザインワー
クも展示します。



(miffy 45th) 「うさこちゃん びじゅつかんへいく」
(1997より) © Mercis bv

富井大裕 みるための時間

6月6日(火)~7月17日(月・祝)

新潟市出身、現代美術のフィールドで活躍する
富井大裕(1973-)。身近な日用品を用い
ながら、その意味や本来の用途から逸脱した
造形を生み出し、「彫刻」の体験とは何かを問
いかけます。美術館での初個展。

「前衛」写真の精神: なんでもないものの変容

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

7月29日(土)~9月24日(日)

美術評論家の瀧口修造、絵画と写真の分野
で活躍した阿部展也、そして写真家の大辻
清司、牛腸茂雄の交流と創作を辿りながら、
1930~80年代の日本昭和写真史の一片
をご紹介します。前衛写真の意外な
側面に迫ります。



牛腸茂雄 「喧嘩れた街の中で」 1978~1980年
(2004年プリント) ムムダプリント
プリント監修: 三浦和人 新潟市美術館蔵

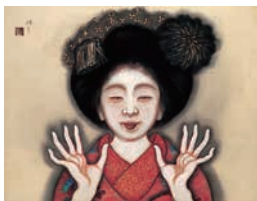
発掘された珠玉の名品

少女たち

星野画廊コレクションより

11月18日(土)~2024年1月21日(日)

個性派画家の発掘をリードしてきた京都・星
野画廊。カリスマ画商が別れ難く手元に残し
てきた濃密な優品120点を一挙公開。「少女
たち」の美術史・ファッション史・世相史の豊
かな変転をたどります。



岡本神草 「拳の舞妓」 1922年頃

新潟市新津美術館 (新潟)

佐川美術館コレクション

平山郁夫が描く 世界遺産展

4月15日(土)~6月18日(日)

日本画壇を代表する画家として活躍した平山
郁夫(1930-2009)。本展では、佐川美術館
が所蔵する「アンコール遺跡」「比叡山延暦
寺」などを紹介します。あわせて、世界文化
遺産登録を目指す「佐渡島の金山」に関する
展示も併設します。

生誕140年 ユトリ口展

7月1日(土)~8月27日(日)

哀愁漂うパリの情景を描いて一世を風靡した
画家モーリス・ユトリロ(1883-1955)。絵
画制作を始めた「モンパルネ時代」から「白の
時代」、「色彩の時代」そして晩年の作品まで
を日本国内のコレクション約70点で展覧し
ます。



《可愛い聖体拝受者》、トルシーヌ・アン・ヴァロアの教会
(エヌ展) 1912年頃
©Hélène Bruneau 2023

ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉

9月9日(土)~11月5日(日)

スロバキア共和国首都ブラチスラバで2年
ごとに行われてきた世界最大規模の絵本原
画コンクール。第28回展に参加した日本の
15名と、近年注目される韓国の14名の作家
たちによる絵本原画を展示し、両国の絵本
のいまを紹介いたします。



イ・ソヨン (夏) 2019-20年
©Soyung LEE

笹岡了と 新潟光風会の作家たち

2024年1月20日(土)~3月10日(日)

新潟美術館の設立基盤となった旧新津市
出身の笹岡了(1907-1987)の油彩画を
はじめ、笹岡と所縁深い新潟光風会の作家
たちの作品を、当館所蔵品を中心に展示し
ます。



笹岡了一 「闘争」 1955年 新潟市新津美術館蔵

新潟県立万代島美術館 (新潟)

原田治 展「かわいい」の発見

1月28日(土)~5月7日(日)

「OSAMU GOODS(オサムグッズ)」の生
みの親、イラストレーター・原田治(1946-
2016)。幼少期からの資料やデビュー当時
の仕事、広告・出版・グッズなど多岐にわたる
作品を網羅した、没後初となる全国巡回展。

糸で描く物語

刺繍と、絵と、ファッションと。

5月20日(土)~7月17日(月・祝)

手で一針一針、縫い進めていく「刺繍」。本展
は、この刺繍に注目し、中・東欧の民俗衣装、
イヌイットの壁掛け、現代の絵本原画やフラ
ンスのオートクチュール刺繍といった多彩な
作品約230点をご紹介します。



《ダブル製壁掛け〈夏の生活、冬の生活〉》
北海道立北方民族博物館蔵

ヨシタケシンスケ展 かもしれない

7月29日(土)~9月24日(日)

絵本作家としてのデビュー作「りんごかもし
れない」(2013)以降、幅広い世代を惹きつ
けているヨシタケシンスケ(1973-)。発想
の源である小さなスケッチや絵本原画、愛蔵
のコレクションなど400点以上で作家の「頭
のなかり」をのぞいてみます。



「ヨシタケシンスケ展かもしれない」のイメージ
©Shinsuke Yoshitake

イッタラ展

フィンランドガラスのきらめき

10月7日(土)~12月10日(日)

フィンランドを代表するライフスタイルブ
ランド、イッタラの創立140周年を記念する展
覧会。20世紀半ばのクラシックデザインや
モダンデザインのガラスを中心に、陶器や
磁器、映像やインスタレーションを交えた約
450点を通してイッタラの世界をご紹介します。

JUNKO KOSHINO

コシノジュンコ 原点から現点

2024年2月22日(木)~5月26日(日) ※予定

世界的ファッションデザイナーであるコシ
ノジュンコの過去最大規模の展覧会。その
創造の原点である高校時代のデッサンから、
「対極」というデザインコンセプトを通じて
創出した世界観、琳派や能との饗宴など、現
在までの活動の全貌をご紹介します。



展覧会
メインビジュアル

新潟県立近代美術館 (長岡)

望郷の画家 橋本龍美展

—神も、庶民も、バケモノも—

4月15日(土)~6月4日(日)

新潟県の加茂市に生まれ育った橋本龍美
(1928-2016)は、独学で日本画家を志し、
独自の世界観による表現で注目を浴びまし
た。幼い頃の体験を糧に、妖怪たちや故郷の
祭、暮らしを営む庶民の姿をユーモラスに描
いた画家の回顧展です。



橋本龍美 《風之唄》 1981年
新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵

華麗なるパリ ベル・エポック展

—フランス・モダン・ポスター—

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
コレクション

7月1日(土)~8月27日(日)

19世紀末から20世紀初頭にかけてのフラ
ンスは、豊かな良き時代を意味する「ベル・エ
ポック」と呼ばれ、ロートレック、ミュシャ、カ
サドゥルらによる華やかなポスターが街角
を彩っていました。近代都市パリで生まれ
たポスター約130点をご紹介します。



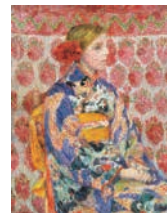
アンリ・ド・トゥールーズ
=ロートレック
《ディヴァン・ジャポネ》
1892年

ベルギーと日本

—光をえがき、命をかたどる—

9月16日(土)~11月12日(日)

戦前にベルギーに留学した画家の太田喜二
郎、児島虎次郎、新潟出身の彫刻家・武石弘
三郎。彼らが日本へもたらしたベルギー美
術とその影響、また当時の印刷物や展示に
も着目しながら、戦前の日本におけるベル
ギー美術受容の様相を紹介いたします。



児島虎次郎
《和服を着た
ベルギーの少女》 1910年
高崎市成羽美術館蔵

尼崎市コレクション

白髪一雄

2024年1月13日(土)~2月25日(日)

白髪一雄の作品を全国美術館で紹介して
いく兵庫県尼崎市の「白髪一雄発信プロジ
ェクト」と共同し、当館コレクションとのコ
ラボレーションにより、何ものにも囚われない
自由に表現された身体と精神との痕跡をたど
ります。

妖怪や神様を信じる あの人を誘って

新潟県立
近代
美術館 望郷の画家 橋本龍美展
—神も、庶民も、バケモノも
4月15日(土)~6月4日(日)

橋本龍美が描いたのは幼い頃のふるさとの原風景。夜ばなしに登場する妖怪、道端のお地蔵様、お寺の境内にいた虫や小動物、山に住むバケモノたち、そして、人間も……。おどろおどろしくもユーモアに満ちたその世界では、人も妖怪も神様もみんな生き生きと楽しそうです。



橋本龍美(お化地蔵)1966年

オシャレなあの人を誘って

新潟県立
万代島
美術館 糸で描く物語
刺繍と、絵と、ファッションと。
5月20日(土)~7月17日(月・祝)

中・東欧の民俗衣装に残る地方色豊かな伝統刺繍やフランスの刺繍工房が手がけるオートクチュール刺繍など、古今東西の刺繍作品が楽しめます。とっておきの刺繍の洋服を着て、お越しください。



エプロン スロヴァキア(北西部トレンチン地域)、ズリエフ 1920年
スロヴァキア民俗芸術制作センター蔵

おうち時間を楽しむ あの人を誘って

新潟県立
万代島
美術館 イッタラ展
フィンランドガラスのきらめき
10月7日(土)~12月10日(日)

フィンランドを代表するライフスタイル・ブランド、イッタラ。食卓を彩る同社のガラス製品は、より良い暮らしを求めてデザインされたものばかりです。長く愛されるテーブルウェアの数々から、おうち時間を楽しむヒントを見つけてください。



Photo: Anton Sucksdorf

あの人を誘って
いきたい!

展覧会

NIIGATA アートリンク2023

誰かを誘って一緒に美術館に出かけてみませんか? 友人や家族と展覧会を見れば、新しい発見があったり、作品の見方が変わったりするかもしれません。「あの人」を誘って、ぜひ美術館にお出かけください。

パズル好きなあの人を誘って

新潟市
美術館 富井大裕 みるための時間
6月6日(火)~7月17日(月・祝)

富井大裕の作品は、生活の中で見慣れたモノを“あるルール”に従って作られています。その法則から見えてくるカタチは…? どんなモノのどのような性質に着目して作られたのでしょうか? 作家の仕掛けた謎解きに挑戦しましょう。



富井大裕(ball sheet ball (see through)) (部分)2014年
新潟市美術館蔵 撮影:内藤雅子

韓国カルチャー好きな あの人を誘って

新潟市
新津
美術館 プラチスラバ世界絵本原画展
絵本でひらくアジアの扉
9月9日(土)~11月5日(日)

韓国の音楽や料理、ファッションやメイクに詳しいあの人、絵本文化についてはまだまだ知らないかも? 本展では韓国絵本のいまを、オシャレでかわいい原画と共にご紹介します。新しい韓国カルチャーをチェックしましょう!



サイダ(草のなまか) (部分)2019年 ©Saída



各館で授乳室、おむつ交換台等の設置、ベビーカーの貸出を行っています。詳しくはお問い合わせください。

パリに憧れるあの人を誘って

新潟県立
近代
美術館 華麗なるパリ ベル・エポック展
—フランス・モダン・ポスター
京都工芸繊維大学
美術工芸資料館コレクション
7月1日(土)~8月27日(日)

ベル・エポックの時代の芸術の都・パリ。バーやキャバレー、オペラなどでにぎわう街角を飾ったのは、これらを宣伝するためのポスターでした。ロートレックやミュシャらによる当時のパリの息づかいを伝えるポスターの数々を、パリに行った気分どうぞお楽しみください。



テオフィル・アレクサンドル・スタンラン
(ジャン・ワール)1896年

散歩好きなあの人を誘って

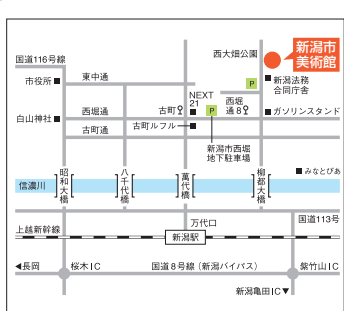
新潟市
新津
美術館 生誕140年 ユトリロ展
7月1日(土)~8月27日(日)

ユトリロはパリを中心とした風景の油彩画を多く描きました。白壁の建物に囲まれた閑静な街並みからはどこか親しみを感じられます。フランスの小路に、いつもの散歩コースとの意外な共通点が見つかるかも?



モンマルトルのポワソニエ通り 1910年頃
©Hélène Bruneau 2023

各館基本情報



新潟市美術館
Niigata City Art Museum
4/1~9/24は9:30~18:00
10/11~3/31は9:30~17:00
(観覧券の販売は閉館30分前まで)
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL 025-223-1622 FAX 025-228-3051
http://www.ncam.jp/



NIIGATA CITY NIITSU ART MUSEUM
新潟市新津美術館
10:00~17:00(観覧券販売は16:30まで)
〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
(花と遺跡のふるさと公園内、県立植物園となり)
TEL 0250-25-1300
https://www.city.niigata.lg.jp/nam/



新潟県立万代島美術館
The Niigata Bandaijima Art Museum
10:00-18:00(観覧券の販売は17:30まで)
〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1
(朱鷺メッセ内万代島ビル5F)
TEL 025-290-6655
https://banbi.pref.niigata.lg.jp/



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館
9:00-17:00(観覧券の販売は16:30まで)
〒940-2083 長岡市千秋3丁目278-14
TEL 0258-28-4111
https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/